

# 北陸の大豆をめぐる現状



平成27年10月

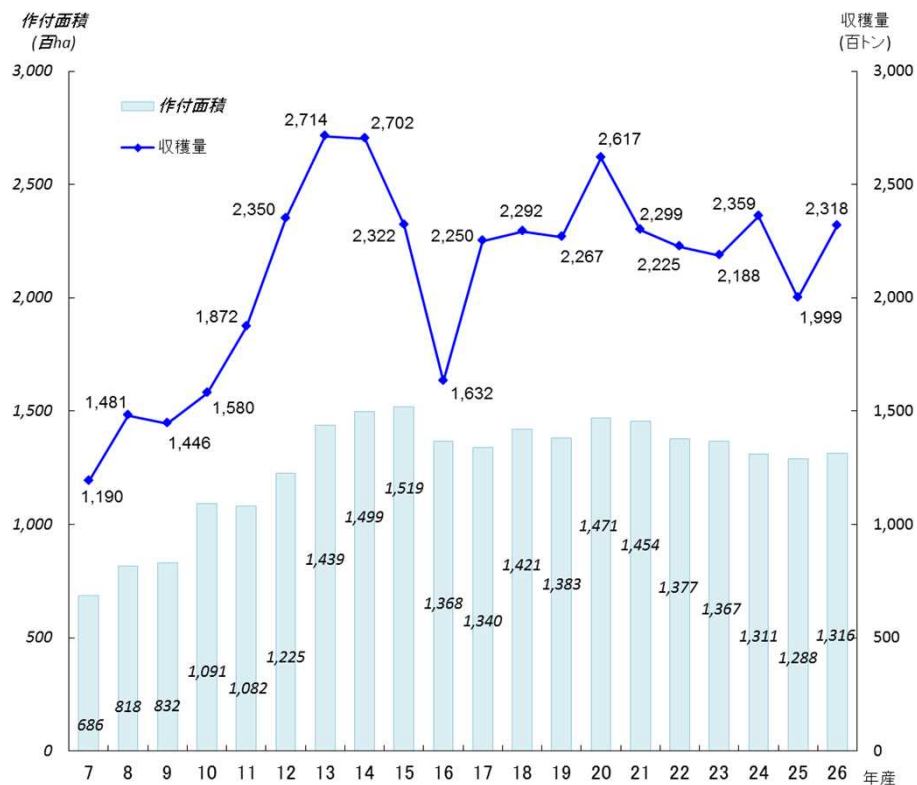
北陸農政局  
生産部 生産振興課

# 1. 作付面積と収穫量

## (1) 全国

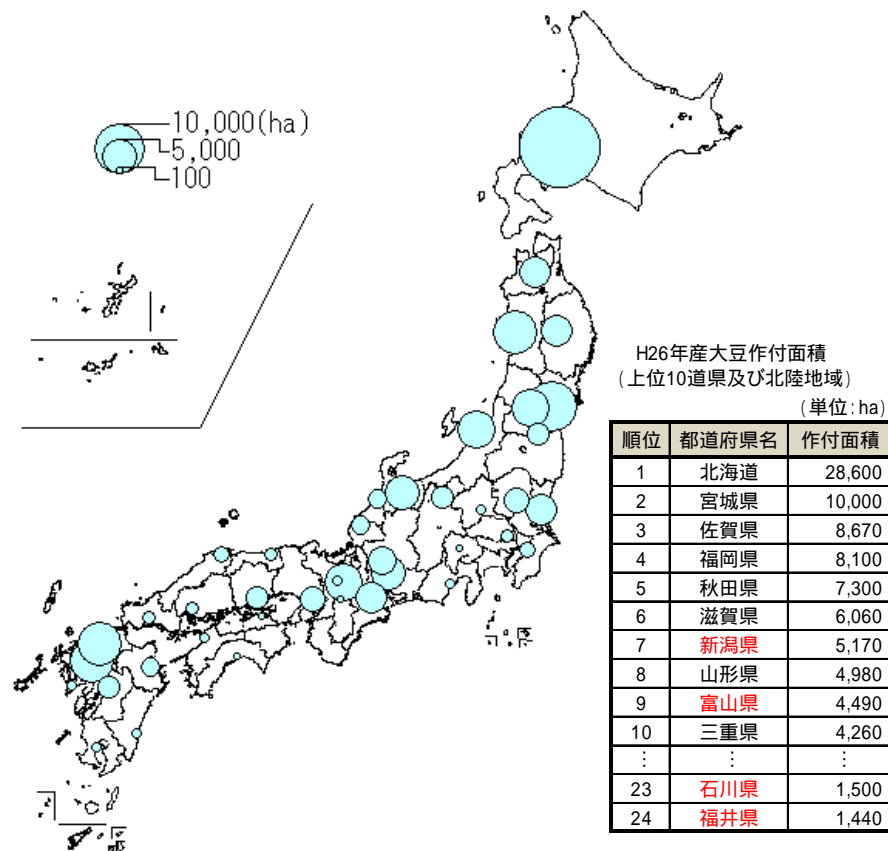
全国における大豆の生産は、米の生産調整の推進等に伴い作付けが増加し、平成13、14年産では収穫量が27万トンに拡大したが、天候の影響を受けやすく、15、16年産で2年連続の不作となるなど、生産は不安定となっている。  
平成26年産は、作付面積が13万1,600 haと前年に比べ2,800 ha増加し、収穫量も23万1,800 トンと前年に比べ3万1,900 トン増加した。

作付面積及び収穫量の推移(全国)



資料:統計部「作物統計」

各都道府県における大豆作付面積(平成26年産)



資料:統計部「作物統計」

# 1. 作付面積と収穫量

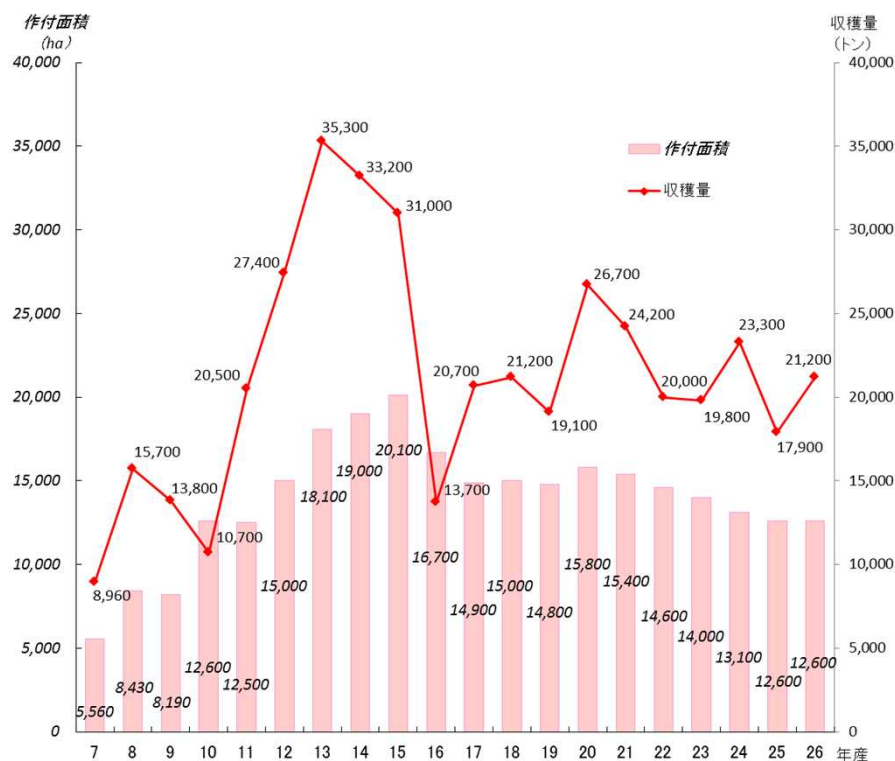
## (2) 北陸地域

北陸地域における大豆の生産は、作付面積が平成15年産をピークに減少傾向にある。また、土壌条件や気象条件等の影響により、収穫量も年による変動が大きく不安定となっている。

平成26年産は、作付面積が1万2,600 haと前年と同じであったが、収穫量は、天候に恵まれ生育がおおむね良好であったことから、2万1,200 トンと前年に比べ 3,300 トン増加した。

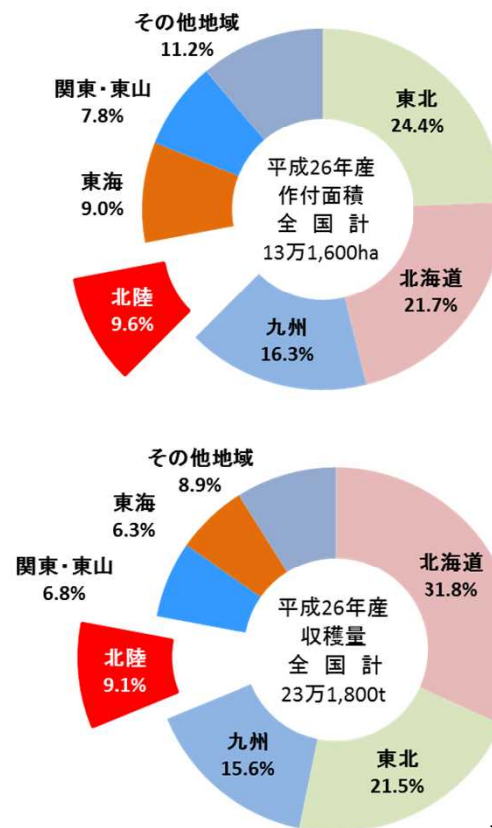
北陸地域の平成26年産大豆の作付面積は全国の9.6%、収穫量は全国の9.1%を占めている。

作付面積及び収穫量の推移(北陸地域)



資料: 統計部「作物統計」

作付面積及び収穫量の地域別割合(平成26年産)



資料: 統計部「作物統計」

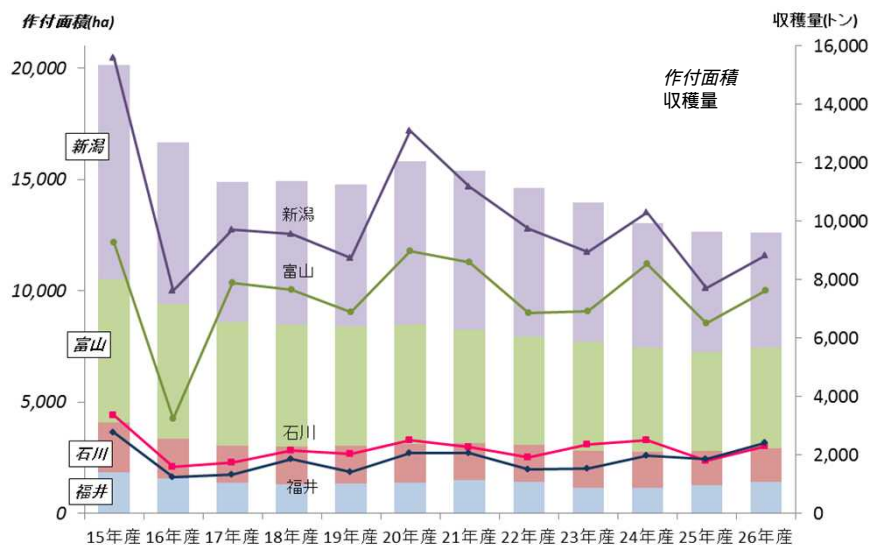
# 1. 作付面積と収穫量

## (3) 北陸各県

県別にみると、平成26年産大豆の作付面積は、富山県と福井県において前年に比べ増加した。(富山県:30ha増、福井県:170ha増)

平成26年産の収穫量は、北陸地域の全県において、前年に比べ増加した。

北陸各県の作付面積及び収穫量

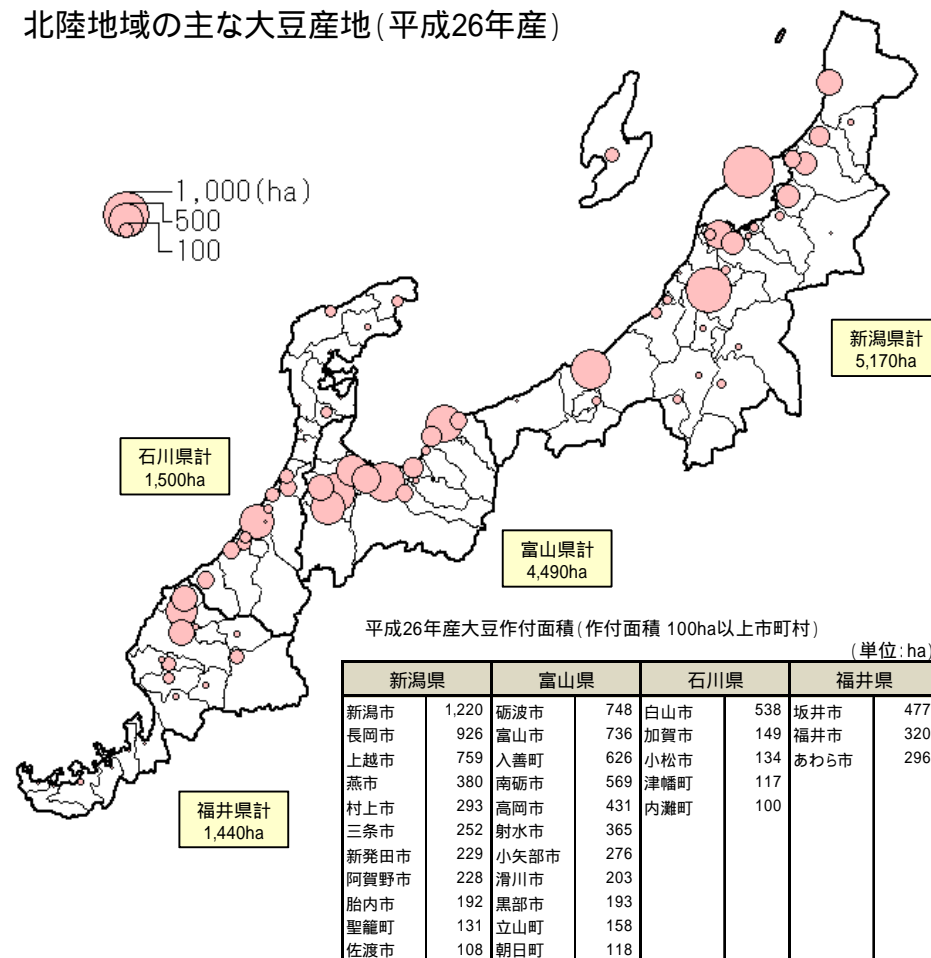


(単位: 作付面積 ha, 収穫量 t)

		15年産	16年産	17年産	18年産	19年産	20年産	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産	26年産
作付面積	新潟県	9,600	7,280	6,290	6,450	6,340	7,320	7,140	6,670	6,250	5,630	5,370	5,170
	富山県	6,460	6,030	5,570	5,510	5,390	5,350	5,080	4,890	4,910	4,670	4,460	4,490
	石川県	2,240	1,780	1,650	1,670	1,690	1,740	1,680	1,640	1,650	1,610	1,540	1,500
	福井県	1,840	1,590	1,390	1,320	1,340	1,400	1,490	1,430	1,170	1,150	1,270	1,440
収穫量	新潟県	15,600	7,640	9,710	9,570	8,750	13,100	11,200	9,740	8,940	10,300	7,730	8,840
	富山県	9,280	3,260	7,880	7,660	6,900	8,990	8,590	6,850	6,920	8,550	6,510	7,630
	石川県	3,360	1,600	1,750	2,150	2,040	2,500	2,290	1,920	2,360	2,500	1,820	2,310
	福井県	2,780	1,240	1,350	1,860	1,410	2,070	2,070	1,520	1,540	1,990	1,870	2,430

資料: 統計部「作物統計」

北陸地域の主な大豆産地(平成26年産)



平成26年産大豆作付面積(作付面積100ha以上市町村)

(単位: ha)

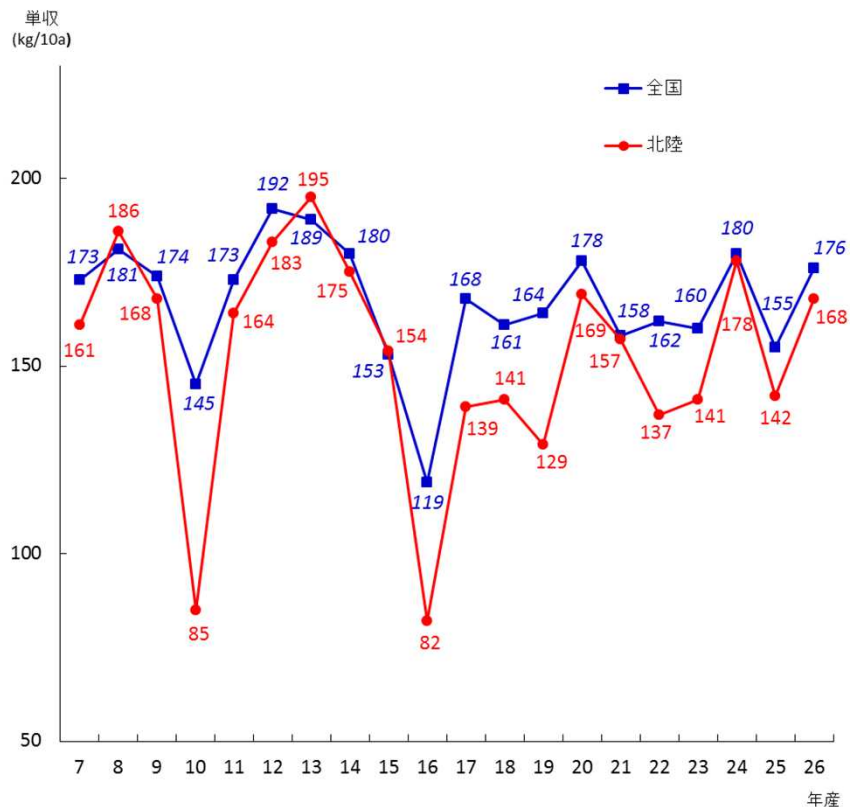
新潟県		富山県		石川県		福井県	
新潟市	1,220	砺波市	748	白山市	538	坂井市	477
長岡市	926	富山市	736	加賀市	149	福井市	320
上越市	759	入善町	626	小松市	134	あわら市	296
燕市	380	南砺市	569	津幡町	117		
村上市	293	高岡市	431	内灘町	100		
三条市	252	射水市	365				
新発田市	229	小矢部市	276				
阿賀野市	228	滑川市	203				
胎内市	192	黒部市	193				
聖籠町	131	立山町	158				
佐渡市	108	朝日町	118				

資料: 統計部「作物統計」

## 2. 単収(10a当たり収量)

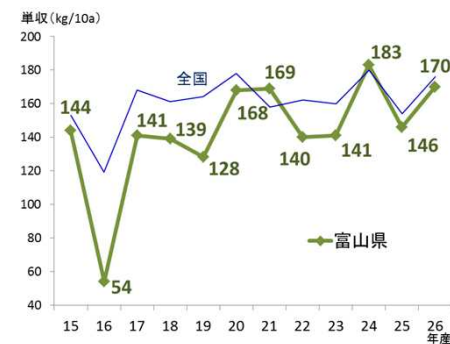
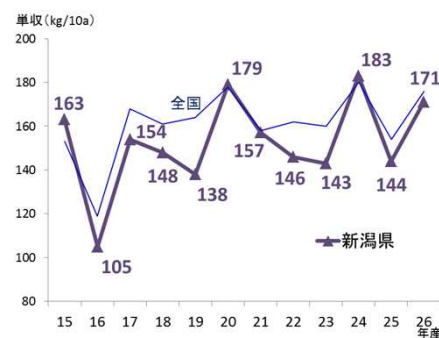
北陸地域における単収(10a当たり収量)は、全国平均に比べ低い水準で推移している。  
 平成26年産大豆の全国の単収は、前年に比べ 14 % 増の 176 kg/10a、北陸地域の単収は、前年に比べ 18 % 増の 168 kg/10 aとなった。  
 県別にみても、平成26年産の単収は、全県で前年産を上回った。

単収の推移(全国及び北陸地域)



資料: 統計部「作物統計」

単収の推移(北陸各県)



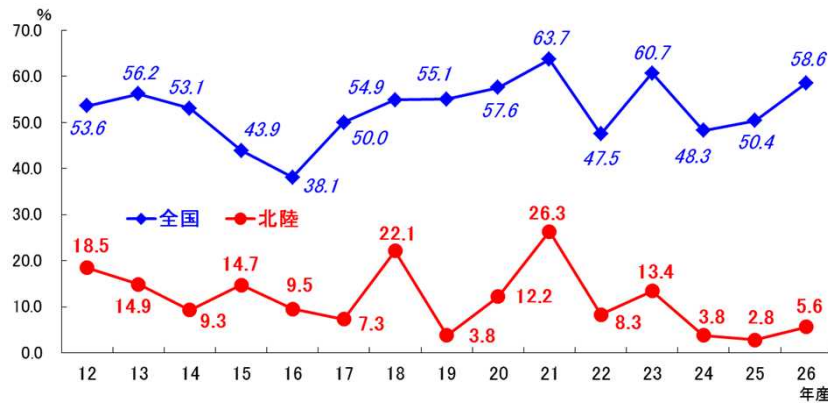
資料: 統計部「作物統計」

### 3. 品質 (農産物検査結果) 及び価格

北陸地域の平成26年産大豆の1・2等比率は5.6%と、前年に比べ増加したものの、全国平均の58.6%と比較すると大きく低迷している。北陸地域では、しわ粒の発生が問題となっている。

(公財)日本特産農産物協会が実施する国産大豆の入札における取引価格は、平成23年産において台風等による収穫量の減少から上昇がみられ、24年産は国産大豆の需要の高まりにより高い水準を継続した。25年産においては、台風被害、天候不順による登熟期の生育抑制等による減収のため取引価格が大幅に高騰し、収穫量が増加した26年産においても、引き続き高い水準を維持している。

全国及び北陸地域の1・2等比率の推移



資料:北陸農政局生産部調べ

**【参考】しわ粒の原因及び対策**

(農林水産高度化事業「北陸地域に多発する大豆しわ粒の発生防止技術の開発」(H16～18)研究成果より)

**(1) ちりめんじわ**

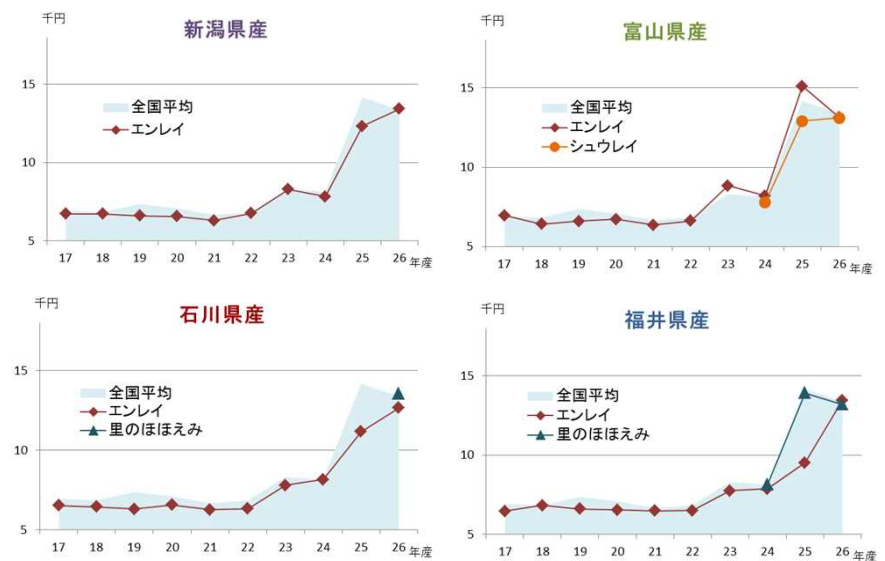
発生には子実肥大盛期前後の栄養状態が影響し、作物体の老化が関係。発生防止対策としては、窒素栄養状態の改善、無機栄養状態の改善、土壌環境の改善が必要。

**(2) 亀甲じわ**

成熟期後の乾燥過程において、子実水分が低下した後の吸湿により発生し、その後の乾燥、吸湿の繰り返しにより増加。

発生防止対策としては、コンバインによる刈取開始は成熟期前後の子実水分22%前後の時期から行うことが必要。

大豆の落札平均価格(全国及び北陸各県)



(単位:円/60kg)

	17年産	18年産	19年産	20年産	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産	26年産
全国平均	6,931	6,835	7,364	7,079	6,654	6,829	8,299	8,145	14,168	13,380
新潟県産										
エンレイ	6,717	6,715	6,601	6,566	6,309	6,759	8,289	7,836	12,335	13,429
富山県産										
エンレイ	6,969	6,419	6,591	6,724	6,357	6,619	8,843	8,191	15,109	13,119
シュウレイ	-	-	-	-	-	-	-	7,780	12,908	13,100
石川県産										
エンレイ	6,509	6,428	6,289	6,546	6,251	6,309	7,789	8,145	11,150	12,653
里のほほえみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13,544
福井県産										
エンレイ	6,455	6,813	6,601	6,538	6,474	6,504	7,738	7,874	9,509	13,454
里のほほえみ	-	-	-	-	-	-	-	8,143	13,910	13,200

注:全国平均は、全品種の平均。  
北陸各県産は、各品種の普通大豆及び特定加工用大豆の大粒・中粒の落札数量と落札価格より算出。

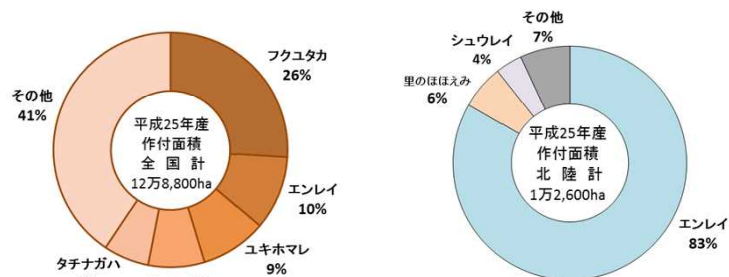
資料:(公財)日本特産農産物協会入札取引結果より

## 4. 品種

北陸地域では、タンパク含量が高く、豆腐の加工に適した「エンレイ」が、作付面積全体の8割以上を占めている。「エンレイ」は、全国の大豆作付面積の1割を占め、うち8割が北陸地域で作付けされている。

近年、富山県では、「エンレイ」に比べ倒れにくく、大粒でしわ粒の発生が少ない「シュウレイ」、新潟県、石川県、福井県では、「エンレイ」に比べ大粒で倒れにくく、莢が割れにくい「里のほほえみ」の導入が進められている。

全国及び北陸地域における大豆作付品種(平成25年産)



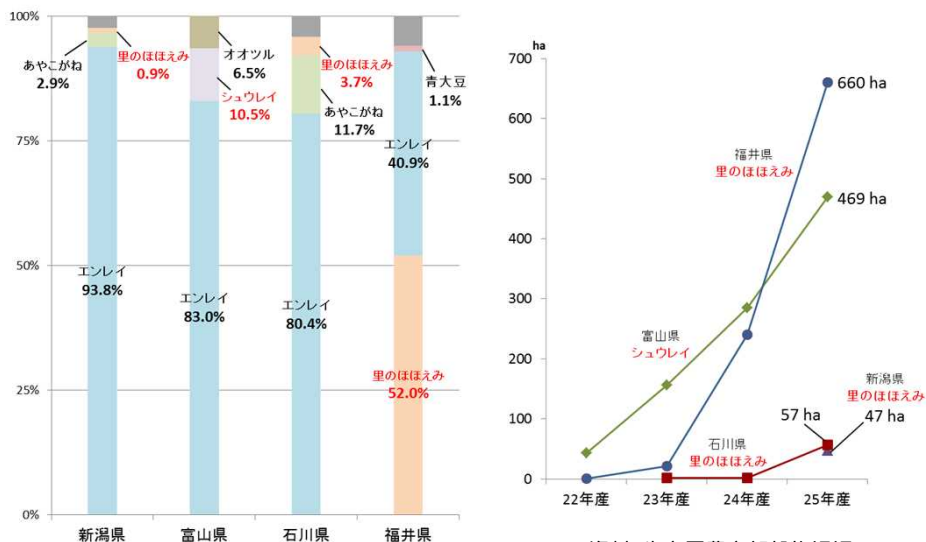
資料:生産局農産部穀物課調べ

北陸各県の奨励品種及び平成27年産産地品種銘柄

	奨励品種	産地品種銘柄			
		必須銘柄(1)		選択銘柄(2)	
		大粒及び中粒	小粒及び極小粒	大粒及び中粒	小粒及び極小粒
新潟県	エンレイ あやこがね	エンレイ	コスズ	あやこがね スズユタカ タチナガハ	すずまん
富山県	エンレイ オオツル シュウレイ	エンレイ オオツル シュウレイ		フクユタカ	
石川県	エンレイ	エンレイ		あやこがね オオツル サチユタカ 里のほほえみ フクユタカ	コスズ
福井県	エンレイ 里のほほえみ	エンレイ		あやこがね オオツル 里のほほえみ フクユタカ	

資料:生産局農産部穀物課調べ

北陸各県の大豆作付品種(平成25年産)及び新品種の導入状況



資料:生産局農産部穀物課調べ

### 1: 必須銘柄とは

全ての登録検査機関が銘柄検査を行う銘柄のことです。必須銘柄であれば、当該都道府県の農産物検査を行っている登録検査機関のどこに検査を依頼しても、銘柄の検査を行います。

### 2: 選択銘柄とは

登録検査機関が銘柄の検査を行うかどうかを選択する銘柄のことです。登録検査機関によっては、当該銘柄の検査を行わない機関がありますので、検査を依頼される際は、事前にどの登録検査機関が選択銘柄を取り扱っているか、確認する必要があります。